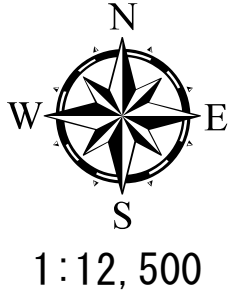
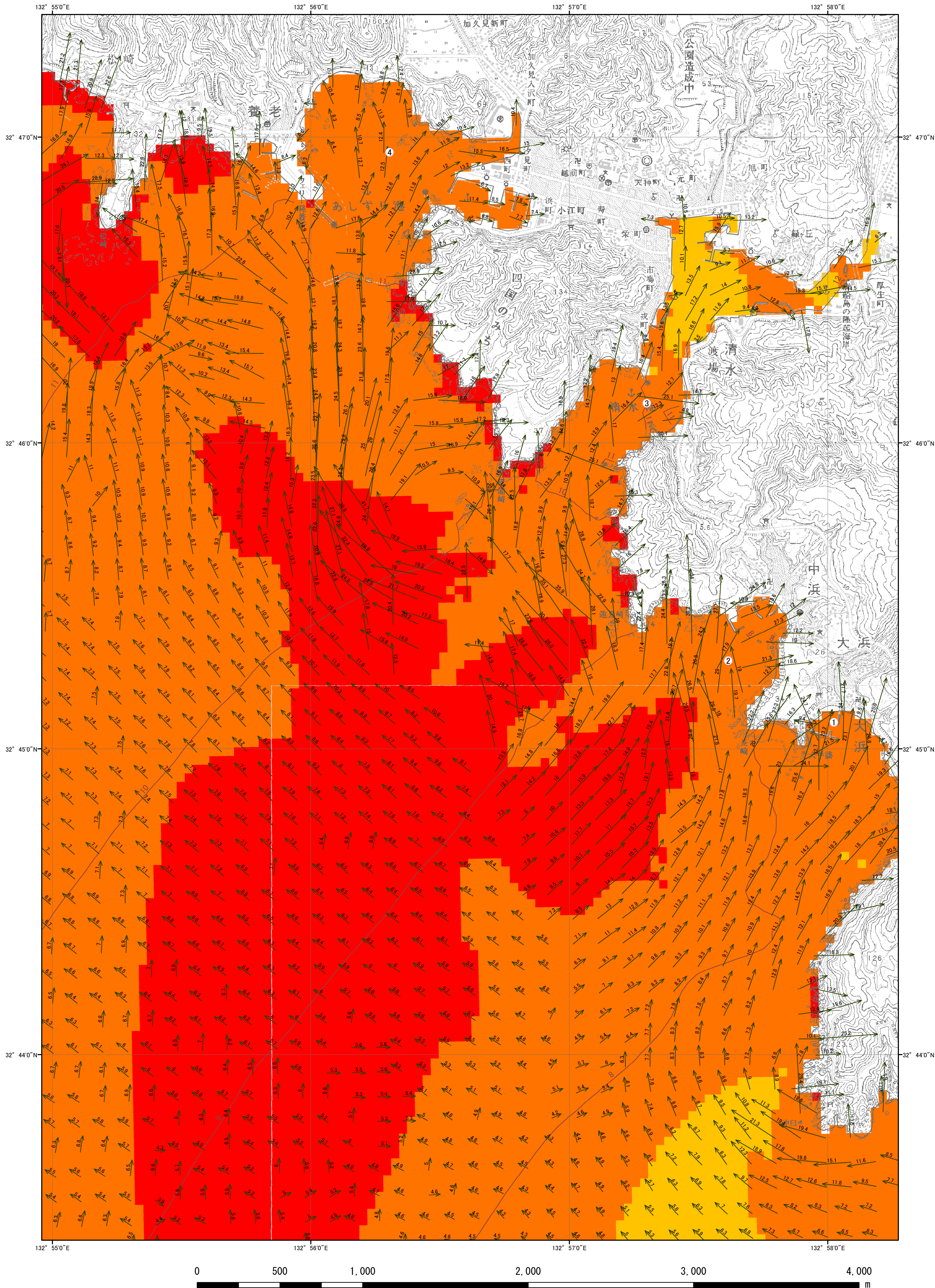


土佐清水港 津波防災情報図 (進入図)

計算条件：最高水面（零位）
 隆起量：平均 -112cm(-133cm ~ -57cm)
 Zo：1.12m
 備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



座標系：メルカトル図法
 測地系：世界測地系 (WGS84)



凡例

— 水位上昇(+10cm)となる等時線[分]

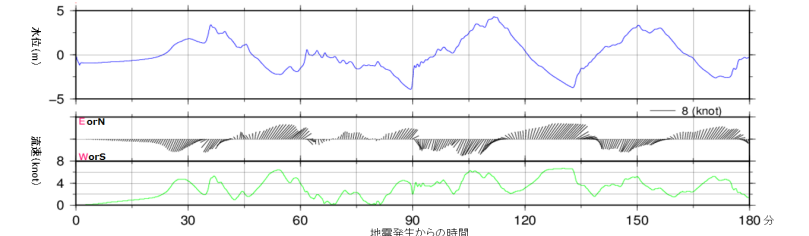
最大水位上昇



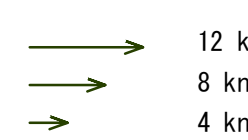
○ 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

(例)水位、流向・流速経時変化図



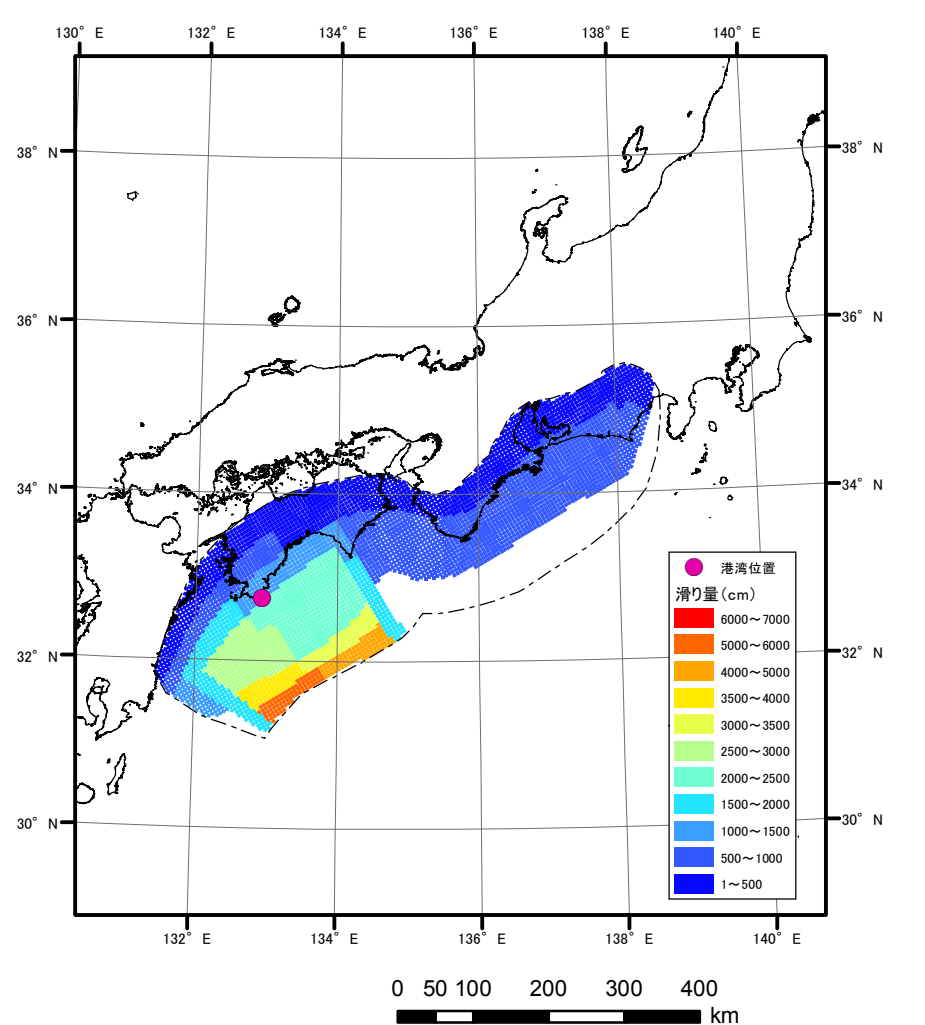
進入時最大流 [knot]



○ 津波の到達時間は、水位が最高水面から10cm変動した時点から算出している。

○ 防護施設は、震度6弱以上の地域であるため、地震発生から3分後に破壊するとして計算している。

断層モデル



ケース⑤「四国沖～九州沖に『大すべり域+超大すべり域』」

| | |
|---------------------------|------------------------|
| 断層面積 S (km ²) | 140,000 |
| 地震モーメント Mo (N·m) | 6.3 × 10 ²² |
| 平均すべり量 D (m) | 10.7 |
| モーメントマグニチュード Mw | 9.1 |

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会（第二次報告）（平成24年8月29日発表）」により公表されたものである。使用した断層モデルは、内閣府より公表された11ケースの中から、本図の区域において、浸水面積が最大となるモデルを選定した。

○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
 ○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
 ・海上保安庁が保有する水深データ
 ・基礎地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び数値地図25000 (地図画像) (国土院発行 国土院院長承認 承認番号 平24情使、第911号 平成25年3月29日)